

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月18日（水）

2 確認箇所

既設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

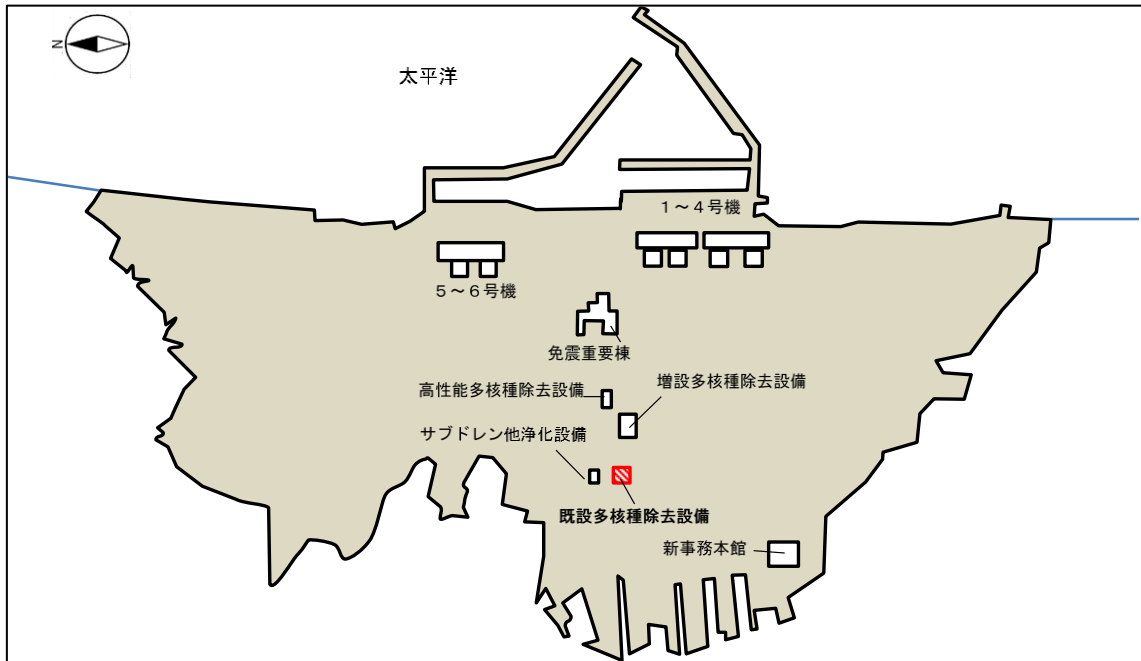
既設多核種除去設備点検作業の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の点検作業状況を適宜確認している。

本日は、既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）建屋内で実施されている設備機器の点検作業状況を確認した。（前回確認日：令和6年10月18日）

- ・ 現地確認時、既設ALPS（A系、B系、C系）は点検停止中であった。
- ・ 建屋内北側に設置されている排水タンクの残水を容器に移送する作業が行われていた。残水を移送するにあたり、汚染の拡大を防ぐため、仮設ハウスが設置されていた。仮設ハウスには、ハウス内の大気中の放射性物質を除去するための局所排風機が設置されていた。残水移送時の漏えいを防ぐため、移送ホースは二重化されており、移送先の容器は受けパン上に設置され、容器はビニール袋に二重に入れられていた。また、汚染防止のため、作業員はカバーオールの上にアノラックを着用し作業が行われていた。作業にあたっては、手順を読み上げ、作業員同士声を掛け合いながら作業が行われていた。（写真1）
- ・ 排水タンク東側に設置されている共沈タンク（A）において、タンク上部に設置されているモーターの交換作業が行われていた。作業場所が高所であることから、フルハーネス型の安全帯を着用した作業員が作業を行っていた。（写真2）
- ・ 建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
排水タンクからの残水移送作業の状況①



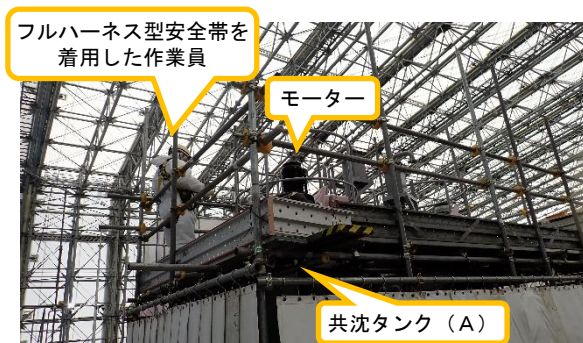
(写真1-2)
排水タンクからの残水移送作業の状況②



(写真 1-3)
排水タンクからの残水移送作業の状況③



(写真 1-4)
排水タンクからの残水移送作業の状況④



(写真 2)
共沈タンク (A) におけるモーター交換作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。